

船舶事故等調査報告書

平成23年2月24日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010広第115号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成22年7月15日 21時03分ごろ	
発生場所	愛媛県今治市菊間町沖 菊間太陽石油シーバース灯から198°44.0m 付近（概位 北緯34°03.0′ 東経132°51.1′）	
事故等調査の経過	平成22年7月21日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	油送船 <small>セオンホ ボナンザ</small> SEONGHO BONANZA（大韓民国）、3,690トン 9427237、SEONG HO SHIPPING CO., LTD.	
乗組員等に関する情報	船長、52歳、男性、大韓民国発給船長免許	
死傷者等	なし	
損傷	左舷船首部の船底外板及びブルワークに凹損	
事故等の経過	本船は、船長ほか14人（大韓民国籍9人、ミャンマー連邦共和国籍5人）が乗り組み、空船のまま、今治市菊間港北東約1海里にある太陽石油シーバース（以下「本件シーバース」という。）の北東端陸側バースを離岸し、低速力で本件シーバースの南西端と臍島間を通過するために右転中、臍島に接近し過ぎ、平成22年7月15日21時03分ごろ、左舷船首部が臍島に乗り揚げ、擦過した。	
気象・海象	天気 曇り、風 なし、視界 良好、月齢 3日 海上 静穏、潮汐 下げ潮末期、潮高 約2.0m、潮流 不詳（来島海峡南流約4ノット）	
その他の事項	本件シーバースは、北東（南西）方向に設置され、長さが約330mであった。 本件シーバースの南西端と臍島間は約270mで、臍島海岸近くに10m等深線があった。 臍島には、灯火はなかった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、菊間港北東沖に所在する本件シーバースの南西端と臍島間を通過しようとして右転中、臍島に接近したことから、同島に乗り揚げた可能性があると考えられる 臍島に接近した状況については、明らかにすることはできなかった。
原因	本事故は、夜間、本船が、菊間港北東沖に所在する本件シーバースの北東端陸側バースを離岸し、本件シーバースの南西端と臍島間を通過しようとして右転中、臍島に接近したため、同島に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	

